

NO. 1	議席番号	氏 名	質問事項・要旨及び答弁者
	1	平 野 武 志	<p>1. 鈴木町政一期目の検証と将来的な展望について</p> <p>前回の定例会で廣瀬議員からの質問の答えとして、二期目への出馬を明言されました。振り返ると多くの町民から期待をされ、様々な挑戦に取り組むとの強い思いでスタートを切った鈴木町政でしたが、新型コロナウイルス感染症対策に多くの時間を奪われ、また行動にも制限がかかり、イメージと異なる一期目だったのではないかと推測します。</p> <p>こうした状況下においても、一次産業の支援策など新規施策に取り組み、懸命に努力している姿を見てきました。特にSNSを通じた木古内町のアピールや他市町との新たな連携、多岐にわたる民間事業者との協定など、多くの種まきに取り組んでいると感じています。大事なことは、これらの取り組みがしっかりと芽生え、形として町民に示していけるかどうかです。</p> <p>そこで、町長が一期目に行ってきた様々な事業について、今後の見通しも含めてお伺いします</p> <p>(1) 協定を締結している事業者との具体的な事業化は、どの程度計画をされているのか。(災害時の協力協定は除く)</p> <p>(2) 他の自治体との連携を経て、当町にどのような還元ができているのか。また今後も連携強化をしていくなかで、広域による施策展開は考えているのか。</p> <p>(3) 外貨獲得を掲げてきましたが、一期目の成果と今後の具体的な数字を含むマニフェストをお示してください。</p> <p>(4) デジタルによる変革が進むなか、教育現場や様々な職場で賛否がある「チャットGPT (類似を含む)」の活用についての考え方をお聞かせください。</p> <p style="text-align: right;">町 長 教育長</p>

2. 二期目へ向けた具体策について

町 長

令和6年度予算は、骨格予算のため新規事業は反映されないと思いますが、町民に寄り添った町政を運営していくための具体策として、次のことを提案させていただきますので、町長のお考えを伺います。

- (1) 高齢者の生活に寄り添う施策として、デマンドバスやライドシェア等移動手段の新しい試みや、命を守るためのエアコン導入の推奨や補助が必要だと考えますが、お考えを伺います。
- (2) 子育て・教育の満足度No. 1を掲げている町長です。近隣町村に追いつけ追い越せで、義務教育期間費用完全無償化・高校通学助成事業の拡充に取り組む考えはあるのか。
- (3) コロナ化を経て、また資材や物価の高騰や人口減少も進み、疲弊している一次産業者や商工事業者の実態把握はされていますか。今現在取り組んでいる漁業者チャレンジ補助事業の他に、農林事業者や商工事業者へのさらなる追加支援が必要だと感じています。町長のお考えを伺います。
- (4) 新規事業を展開するにあたり、財源確保は大きな課題です。コンサル依存からの脱却や公共工事入札時における最低制限価格の見直し、議会費の縮減などもできると思います。外貨獲得を含む、当町独自の財源確保策、あるいは歳出削減のために取り組める構想があればお聞かせください。